令和３年８月　VOL019（一財）長崎県剣道連盟　文責：理事長　小野田　稔　　編集：広報委員　高木志伸

（一財）長崎県剣道連盟 広報誌　第19号 剣道だより（KENDO Nagasaki）

牛部屋に蚊の声闇き残暑かな　（松尾芭蕉）・・立秋（りっしゅう）8月7日(土)

立秋（8月7日頃）を過ぎても、なお残る暑さのことを残暑と言います。

立秋や残暑と聞くと、暦の上では秋になった地上に、べったりと貼りつくように居座っている「夏の暑さ」を連想します。一方、秋暑と聞くと、どこか弱さというか、儚さのようなものを帯びた、「秋らしい暑さ」を連想するものです。

立秋は暦の上で秋が始まる日となります。立秋を過ぎてから秋分（9月23日ごろ）までの気温の高い状態を残暑と呼び、立秋から8月末までのなかなか終わらない暑さを見舞う葉書を出す場合は残暑見舞いとなります。

立秋から秋とはいっても名ばかりで、まだまだ暑さが続く時期で熱中症などには十分注意が必要です。実際の秋を感じ始めるのは例年9月初め頃からとなります。今年の夏はとても厳しい暑さが続いています。剣道の稽古では熱中症にならないように水分補給を確実にとりたいものです。

写真：芙蓉　　花言葉：繊細な美

立秋の頃に咲く芙蓉は花言葉が「心変わり、繊細な美」とも言われ、ハイビスカスに似た直径10cm～15cmほどの大輪の花を咲かせます。花の寿命は1日と短く、朝方に開花して、夕方には萎むが毎日次々と開花して、長期間花を楽しむことができます。漢字で「芙蓉（フヨウ）」と表記され、ハスの美称でもあることから、ハスを“水芙蓉（スイフヨウ）”、フヨウを“木芙蓉（モクフヨウ）”と呼ぶことがあります。

報告（1）・・*第13回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会　祝　全国3位入賞*

標記大会が令和3年7月10日(土)奈良県橿原市ジェイテクトアリーナで開催されました。

長崎県は2回戦で強豪の東京都と対戦となりましたが、1-1で大将同士の代表戦となり、福田美佐子（西陵高校教諭）がメンを決めて3回戦進出を決めました。準決勝戦では前回大会優勝の岡山県と2－2代表戦となり、惜敗しましたが、堂々の全国3位入賞となりました。　　（全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会結果詳細は県連ホームページに掲載）

先　鋒（高校生）　生出琴華（島原高校）	優勝　熊本県　2位　岡山県　3位　長崎県、岐阜県
次　鋒（大学生）　岩本瑚々（筑波大学）	【準決勝戦　】　○岡山県　2－2　長崎県　×　代表戦　岡山勝ち
中　堅（35歳未満）宮田　愛（長崎市）	【準々決勝戦】　○長崎県　4－1　奈良県　×
副　将（45歳未満）中村久美子（学剣連）	【3回戦】　○長崎県　1－1　広島県　×　本数勝ち　長崎勝ち
大　将（45歳以上）福田美佐子（学剣連）	【2回戦】　○長崎県　1－1　東京都　×　代表戦　長崎勝ち

３位入賞　長崎県選手団

岡山県との代表戦
（レッツ剣道より）

東京都との代表戦
（レッツ剣道より）

令和３年８月　VOL019（一財）長崎県剣道連盟　文責：理事長　小野田　稔　　編集：広報委員　高木志伸

報告(2)・・令和3年度剣道審判講習会

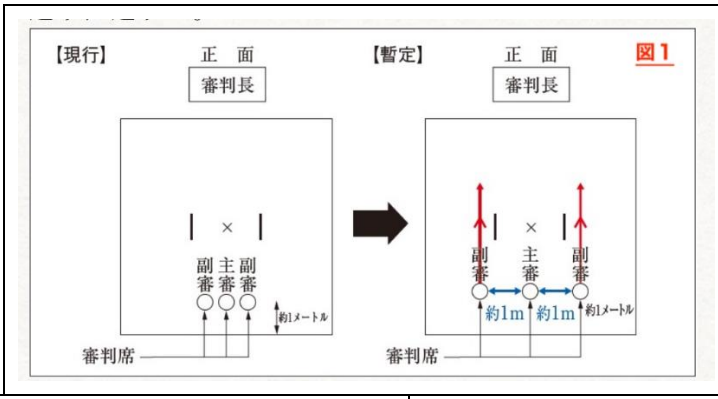
令和３年７月10日(土)諫早市中央体育館(内村記念体育館)において標記講習会が実施されました。受審者全員が真剣眼差しで取り組みました。講師の剣道教士八段灰谷達明先生より講話と長崎県剣道連盟審査委員会岡島正己委員長他委員により実技講習がありました。本講習会は受講者にとって有意義な講習会でした。

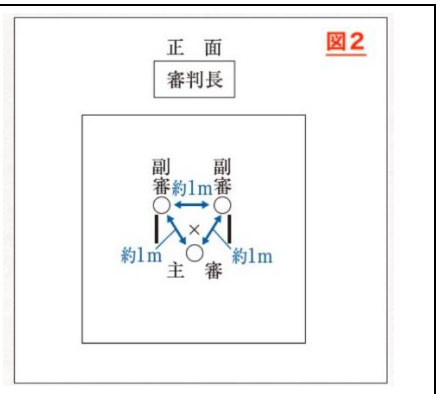
講習会　受講者119名+県連役員・審判審査委員会役員・事務局　15名＝134名　　講師:剣道教士八段　灰谷達明

講習会内容:主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインを踏まえた試合・審判法の留意点

【新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法】講師:長崎県剣道連盟理事　剣道教士八段　灰谷達明

1. 新型コロナウイルス感染症が収束するまでは暫定的な試合・審判法を感染状況等踏まえながら大会毎に大会実施要項に定める。
2. 試合時間の短縮、延長戦は区切って行い休憩を取り入れる等、マスク着用による熱中症対策を積極的に取り入れる。
3. 試合者は、鍔競り合いを避ける。やむを得ず鍔競り合いとなった場合は、すぐに分かれるか引き技を出し、掛け声は出さない(引き技時の発声は認める)。審判員は鍔競り合いを解消しない場合には、ただちに「分かれ」を宣告する。また、1)意図的な「時間空費」2)「防御姿勢(勝負の回避)による相手に接近するような行為は、試合審判規則第1条に則り反則と判断する」この問題については、審判員の裁量だけで解決するのは困難であり、事前に試合者に対して、十分に指導、徹底することが必要である。
4. 審判員の密接を防ぐために、審判員の試合場への入退場の際は1m以上の間隔を空けて行う。図1左図の現行では主審と副審の袖と袖が触れるか触れないかの距離であったが、右図のように主審と副審の袖と袖の間隔を1m以上空ける。主審は中心の位置に、副審は開始線よりやや外側に立ち、定位置まで開始線の外側を通り直進する。
5. 合議は図2のように1m以上の間隔を空けて行う。





鍔競り合い実技講習

講話:灰谷講師による講話

全剣連作成ビデオによる講習

実技講習(1)

実技講習(2)

実技講習(3)

令和３年８月　VOL019（一財）長崎県剣道連盟　文責：理事長　小野田　稔　　編集：広報委員　高木志伸

報告(3)・・第 60 回全日本女子剣道選手権大会長崎県予選会

令和３年７月 18 日(日)、長崎県立総合体育館武道場において(一財)長崎県剣道連盟主催、(公財)KTN スポーツ振興財団後援で標記大会が開催されました。

コロナ禍のなか当初予定の５月から延期され、女子のみの大会となりましたが、県内各地から集った精鋭が選手権大会にふさわしくレベルの高い熱戦を繰り広げました。尚、男子の大会は８月 29 日(日)に開催の予定です。

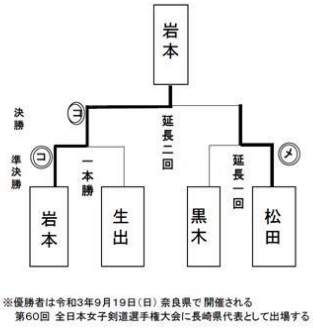
令和３年度 長崎県女子剣道選手権大会　兼
第６０回　全日本女子剣道選手権大会　県予選　結果

順　位	氏　　名	所　属
優 勝	岩本　瑚々	筑波大学
第二位	松田　美結女	明治大学
第三位	生出　琴華	島原高等学校
	黒木　美宇	大阪教育大学

試合結果(1)

優勝　岩本瑚々(筑波大)

上位入賞者



試合結果(2)

試合風景(1)

試合結果(2)

報告(4)・・令和３年度　第 68 回全九州高校剣道大会結果

標記大会が令和３年７月３日(土)～４日(日)鹿児島県日置市・吹上浜公園体育館において開催されました。7 月 3 日(土)は女子団体戦の予選リーグ～決勝、7 月 4 日(日)は男子個人戦の 1 回戦～決勝 7/4(日) 男子団体戦予選リーグ～決勝、女子個人戦 1 回戦～決勝までが実施されました。男女個人は各県ベスト 8 以上、男子、女子団体各県優勝、準優勝以上(5 人制)での開催でした。

男子個人では安田祐也(島原)と小山颯(島原)が準決勝戦で敗れましたが、3位入賞と健闘しました。団体戦は男子団体では長崎南山高校が堂々の準優勝でした。また、西陵高校が長崎南山に準決勝戦で敗れたが、3位入賞を果たしました。

団体女子は島原高校が準々決勝で八代白百合高校(熊本に)に 0－0 の代表戦で惜敗し、ベスト 8 でした。

長崎南山高校は 8 月 9 日～12 日まで石川県で開催されるインターハイでも十分に全国制覇が狙えるところまでチームの勢いがついてきています。　　(全九州高校剣道大会結果詳細は県連ホームページに掲載)

男子団体　優勝　九州学院高校(熊本)、　2位　長崎南山高校(長崎)、　3位　西陵高校(長崎)、　錦江湾高校(鹿児島)
女子団体　優勝　中村学園女子高校(福岡)、2位　八代白百合高校(熊本)、3位　筑紫台高校(福岡)、阿蘇中央高校(熊本)
男子個人　3位　安田祐也(島原)、小山颯(島原)

男子団体準優勝(長崎南山高校)

男子団体3位　(西陵高校)

男子個人　3位
安田祐也(島原)、小山颯(島原)

報告(5)・・第 73 回令和 3 年度長崎県高等学校総合体育大会剣道競技

標記大会が令和 3 年 6 月 5 日(土)～6 日(月)、諫早市小野体育館で開催されました。女子団体決勝は島原高校が西陵高校を2-0で下して4大会連続 17 回目の優勝を飾りました。準々決勝、準決勝、決勝は一人も負けない快勝でした。先鋒永井が終始流れをつくり、全員が持ち味を生かして、すべての試合がかみ合っての勝利でした。先鋒の永井は予選リーグの五島戦を含めて、全4試合で七本を奪取。決勝戦の西陵高校戦でもメンとコテを決め、次鋒の福園もドウで一本勝ち、中堅高波、副将井上、大将生出が落ち着いて引き分け、2-0で勝利しました。島原高校女子は 3 月の全国選抜大会では 3 回戦で涙をのみました。同大会で準優勝の島原高校男子は準決勝で西陵高校に敗れ、夏の全国大会の切符を逃しました。島原高校監督及び女子選手は男子の分まで長崎県代表として全国大会優勝を目指しています。 女子個人戦では島原高校の生出琴華が大村高校の本城ありさを制し、優勝を飾りました。男子個人戦では島原高校・小山颯が同じ島原高校・安田祐也を制し、優勝を飾りました。男子団体は決勝では長崎南山高校が西陵高校を2-1で下して 17 大会ぶり 22 回目の優勝を飾りました。長崎南山高校出場 5 人全員は 2018 年の全国中学校大会で 3 位に入賞した長崎南山中学出身のメンバーたちで今大会では彼らが躍動しました。今季は県内主要大会決勝で島原高校に惜敗を続けてきました。西陵高校との決勝戦では先鋒の池田がドウとメンを決めて流れを引き寄せました。1年生の戸田も面の一本勝ちで続き、中堅冨田、副将山口が引き分けて優勝が決まりました。　（高総体結果詳細は県連ホームページに掲載）

女子団体　優勝　島原高等学校、　2位　西陵高等学校、　3位　長崎日本大学高等学校、瓊浦高等学校
男子団体　優勝　長崎南山高等学校、2位　西陵高等学校、　3位　瓊浦高等学校、島原高等学校島原高校
女子個人　優勝　生出琴華(島原)、　2位　本城ありさ(大村)、3位　福園楓音(島原)、永井　萌(島原)
男子個人　優勝　小山　颯(島原)、　2位　安田祐也(島原)、3位　池田丞士(長崎南山)、下田慎太朗(島原)

男子団体優勝(長崎南山高校)

女子団体優勝　(島原高校)

男子決勝戦　長崎南山高校×西陵高校

男子個人入賞者

女子個人入賞者

女子決勝戦　島原高校×西陵高校

報告(6)・・令和3年度長崎県中学校体育連盟　剣道競技

標記大会が令和3年 7 月 25 日(日)長崎県立総合体育館(メインアリーナ)において開催され、令和 3 年 5 月～6 月に開催された各地区大会を戦い抜いた選手の熱戦が繰り広げられました。 団体戦優勝校・準優勝校、個人戦1～3位の選手は8月5日(木)～8月 7 日(土)に宮崎県宮崎市、ひなた武道館(宮崎県武道館)で開催される九州中学校剣道競技大会の出場権を得ました。また、団体戦優勝校、個人戦1・2位の選手は8月20日(金)～8月22日(日)に神奈川県川崎市とどろきアリーナ で開催される全国中学校剣道大会の出場権を得ました。

(県中総体結果詳細は県連ホームページに掲載)

女子団体　優勝　諫早中学校(諫早)、　2位　橘中学校(長崎)、　3位　布津中学校(南島原)、玖島中学校(大村)
男子団体　優勝　長崎南山中学校(長崎)、2位　有明中学校(島原)、3位　橘　中学校(長崎)、東長崎中学校(長崎)
女子個人　優勝　児島和歩(布津)、　2位　本田　澪(諫早)、　3位　川上友梨子(平戸)、本多由奈(島原第二)
男子個人　優勝　田添鈴太郎(玖島)、　2位　織田慶次(愛野)、　3位　守屋伊織(真城)、田中　慶(波佐見)

報告(7)・・第 51 回長崎県居合道段別選手権大会

（一財)長崎県剣道連盟主催、長崎新聞社後援の標記大会が令和 3 年 5 月 16 日(日)午前 10:00 より諫早市小野体育館において開催されました。段外から七段までの段別選手権ではコロナ禍の中、出場できない 18 名を除き県内から居合道剣士 40 名が選手権大会及び個人演武に出場し、各段において熱戦が繰り広げられました。七段の部・平　禮道(口之津健武会・南島原市)・六段の部、岩男徹史(平戸厚海会・平戸市)・五段の部、畑中健佑(遊道会・長崎市)が優勝しました。令和 3 年 10 月 9 日(土)に東京都武道館において第 56 回都道府県対抗全日本居合道大会が開催されます。全日本居合道大会は県大会の五段、六段、七段の上位入賞者から長崎県代表として日本一を目指して強化練習等で選考されます。

上位入賞者集合写真

新型コロナウイルス感染拡大対策の審判

七段の部優勝
平　禮道(口之津)

個人演武
居合道教士七段

第 51 回長崎県居合道段別選手権大会結果

段　位	優　勝		準優勝		三　位	
段外の部	藤安　美晴	(剣倫会)	藤安　穂乃	(剣倫会)	橋本　新	(剣倫会)
初段の部	井上　義崇	※演武賞(生武館)				
二段の部	中村　竜一	(葉遊会)	山本　茂夫	(友剱会)		
三段の部	天野　秀明	(遊道会)	川下　浩一	(遊道会)		
四段の部	中村　政樹	(修道塾)	吉嶺みゆき	(生武館)	井手伝次郎	(生武館)
五段の部	畑中　健佑	(遊道会)	宮﨑フサ子	(友剱会)	田口　春男	(生武館))
六段の部	岩男　徹史	(平戸厚海会)	竹本　　剛	(生武館)	入江　紀弥	(友剱会)
七段の部	平　　禮道	(口之津健武会)	中村　武文	(口之津健武会)	宮﨑　大輔	(友剱会)
奨励賞	中村知美	(剣倫会)	宮﨑優奈	(剣倫会)		
演武賞	小林保彦	(尚武会)		特別賞	岩永慎一郎	(遊道会)

報告(8)・・第 56 回都道府県対抗全日本居合道大会強化稽古

令和 3 年 10 月 9 日(土)に東京都武道館において第 56 回都道府県対抗全日本居合道大会が開催されます。全日本居合道大会は県大会の五段、六段、七段の上位入賞者から長崎県代表として日本一を目指して強化稽古等で選考されます。強化稽古は本大会まで佐世保工業高校同窓会記念館を中心に本大会まで 10 回予定しています。大会の趣旨は全日本剣道連盟居合の普及振興を図ると共に、古流を伝承するため、各都道府県剣道連盟の代表選手により優勝試合を行い、居合道の技術の向上を図るものです。さらに個人演武者の参加も加え、日頃の修錬を披露すると共に、参加者相互の親睦を深め、もって斯道のより一層の発展を期するものです。五段、六段、七段の都道府県代表選手がトーナメント方式で古流 2 本(自由技)、全日本剣道連盟居合 3 本(指定技)の計 5 本の技で対戦し、各段の個人のポイント合計が団体の総合成績で戦います。

＜強化選手＞五段　畑中健佑(遊道会)、宮﨑フサ子(友剱会)、六段　岩男徹史(平戸厚海会)、竹本　剛(生武館)
七段　平　禮道(口之津)、　中村　武文　(口之津)、監督　高木志伸(居合道部長)

強化選手集合写真

六段　岩男徹史(平戸厚海会)

七段　強化選手の模擬試合

六段　竹本　剛(生武館)

令和３年８月　VOL019（一財）長崎県剣道連盟　文責：理事長　小野田　稔　　編集：広報委員　高木志伸

報告(9)・・令和３年度　第44回 長崎県道場少年剣道大会

標記大会が令和３年７月18日(日)、諫早市立森山スポーツ交流館で開催されました。
団体戦上位の(小学生7チーム・中学生7チーム)は令和4年1月５日(水)から１月６日(木)大阪府「舞州おおきにアリーナ」で開催される第55回全国道場少年剣道大会の出場権を得ました。(道場少年剣道大会結果詳細は県連ホームページに掲載)

団体中学生の部　優勝　愛野少年剣道部、　２位　波佐見弘道館、　３位　諫早少年剣道会亀舟館、佐々少年剣道部
団体小学生の部　優勝　黒髪少年剣道育成会、２位　真崎少年剣道会、３位　三浦中央少年剣道クラブ、生月剣道スポーツ少年団

【小学生個人の部】
男子優勝　小宮尚道(不二剣道錬成館)、２位　鈴木晴馬(島原修悠館)、３位　小島主磨(諫早少年剣道亀舟館)、坂口理(轟子龍会)
女子優勝　安永穂乃(相浦武道会)、　２位　山﨑夏穂(橘道場)、　３位　松坂心花(川棚少年剣友会)、吉田羽那（不二剣道）

【中学生個人の部】
男子優勝　白石和磨(志成会)、　２位　山下凉弥(微神堂)、　３位　本多　志(真崎少年剣道会)、中村　尋(坂口剣道)
女子優勝　戸田胡桃(黒髪少年剣道)、　２位　鈴木叶凛(島原修悠館)、　３位　船津莉那(厳原少年剣道部)、脇田莉亜(橘道場)

小学生の部優勝　黒髪少年剣道育成会

中学生の部優勝　愛野少年剣道部

中学生個人　男子の部　入賞者

中学生個人　女子の部　入賞者

小学生個人　男子の部　入賞者

小学生個人　女子の部　入賞者

道場からの便り「道場紹介」(4)・・・高来町少年剣道轟子龍会(諫早市)

1. 創立・・・・少年剣道は、昭和30年頃青少年の非行防止を目的として、各自治体行政と警察の協力で、防犯活動として推進されてきました。当初は、剣道を志す少年のみを対象に公民館講堂、学校の体育館等で細々と指導が続けられていましたが、年ごとに少年剣道は盛んになり、保護者の間にも認識が深まり、昭和 40 年 1 月には高来町武道会が結成されました。その後昭和 59 年 10 月に高来町少年剣道に育成会が結成され、その名を「轟子龍会」と命名されました。
2. エピソード・・・最初に取り組まれたのが、組織の整備と指導体制の強化でありました。この結成をきっかけに急速な盛り上がりを見せ、全国道場連盟練成大会にも県を代表して３回出場するまでに向上し、今日に至ります。
3. 会員と指導方針・・・現在は高来武道館にて、小中学生合わせて14名で稽古に励んでいます。これからも先人の先生方や先輩方に負けぬよう、心・技・体を鍛え、日々精進していきたいと思います。
4. 活動場所と時間・・・・稽古場所：高来武道館(諫早市)、稽古日時：月・水・金曜日 18:00～20:00
   ○指導者：野副伸一郎(館長　剣道教士七段)　石井幸生,持永孝則,松本博文,沖田隼人,村田剛,山﨑大輔

集合写真

稽古風景

県道場連盟大会　小学生男子３位　坂口理さん

道場からの便り「道場紹介」(5)･･･大音寺養正館　剣道部(長崎市)

大音寺養正館は、仏教寺院の中にある道場です。お寺の山門をくぐり、ご本尊の仏様や先祖様に見守られながら、剣道、柔道を通して生きる上で大切な心身を育むことを目的としています。いつでも見学などお越しください。お待ちしております。

大音寺養正館館長　本原大義

1.　創立

剣道範士八段の空閑源嗣（1915～2001)先生が大音寺に開いていた武道場･養正館の剣道師範として養正館が開かれたのが昭和 43 年(1968)頃から多くの子供たちの指導に尽力した道場です。一源三流（いちげんさんりゅう）を唱えられました。

1） 血を流す･･･血を流す様に何事も一生懸命にやって世の中のために役立つ人間になる。
2） 汗を流す･･･両親の御恩に　汗を流して報いる。
3） 涙を流す･･･友のために涙を流す様なやさしい人間になる。

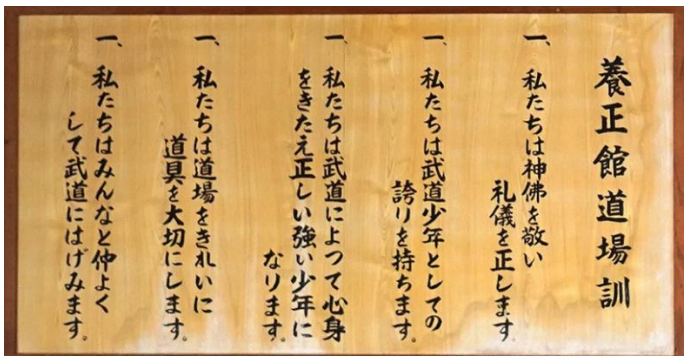
3.　指導者からのメッセージ

私はこの歴史と輝かしい実績のある大音寺養正館で少年少女剣士と一緒に汗を流し、剣士たちの成長の手助けを出来ることに喜びと生きがいを感じております。初代師範の故　空閑源嗣先生に指導者としての道筋を授けていただき、また、故　吉田孝先生に日々の稽古の大切さを身を挺してご指導を頂きました。1975 年から指導助手をさせて頂き、これまで少年少女剣士を指導してきたつもりが逆に教えてもらったことの方が多かったと実感しています。日本の伝統文化のひとつである剣道の素晴らしさを一人でも多くの方に知って頂き、わが長崎の剣道発展に少しでもお役にたてればと思っております。

主席師範　大久保嘉禮

4. 活動場所と時間ほか

1）稽古場所：〒850-083　長崎県長崎市鍛冶屋町 5-87　TEL：095-824-2367
2）指導者：大久保嘉禮（主席師範　剣道教士七段）、大久保　美弥子（剣道五段）、大久保嘉朗（剣道五段）
3）稽古日時：火曜日･木曜日　17：00～　礼式･稽古開始　～19：00 稽古終了･礼式
　　土曜日　16：00～　礼式･稽古開始　～18：00 稽古終了･礼式
4）見学･入会･相談　随時　　大音寺　寺務所　担当：梯（かけはし）までお気軽に申し込みください。

5. 稽古方針と風景･集合写真　（https://daionji-youseikan.wixsite.com/kendo　HP）

1）稽古が始まる前に、必ず道場の清掃を行います。
2）開始時間には礼式を始められるように十分に準備をしておきましょう。
3）止むを得ず、稽古を休む場合や遅れる場合は、事前に先生に届けましょう。
4）稽古日以外には、他道場への出稽古、試合、レクレーション、昇級審査、卒館式などがあります。
5）剣道着･袴･防具などはサイズが合えば無償で貸し出しができます。